

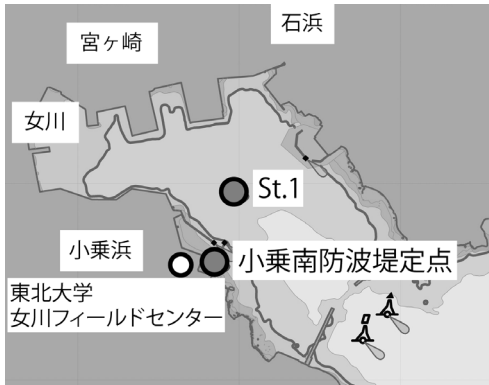
週刊 女川湾海況速報 (No.70)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

11 月 25 日から 29 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、6～7mg/l 台を維持。経時的には全層で 27 日まで下降し、それ以降は上昇。27 日には全層で 6.8～6.9mg/l を示した。

水深 [m]	11月25日 (月)	11月26日 (火)	11月27日 (水)	11月28日 (木)	11月29日 (金)
0	7.2	7.1	6.9	7.1	7.2
6	7.3	7.1	6.8	7.1	7.2

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は下降したが、塩分は上昇し、それぞれ 14.1～14.6℃、33.2～33.4 の範囲にあった。経時的に水温は全層で下降傾向にあり、特に 27 日に全層で顕著な下降。塩分については各層で大きな変化は確認できず、ほぼ一定で推移。先週と比較して全体的に塩分が上昇したのは港外水の侵入の影響と推定。27 日の顕著な水温下降は気温低下の影響と推定。

水深 [m]	11月25日 (月)	11月26日 (火)	11月27日 (水)	11月28日 (木)	11月29日 (金)
0	14.6 (33.3)	14.6 (33.4)	14.2 (33.2)	14.2 (33.4)	14.2 (33.5)
6	14.6 (33.4)	14.5 (33.3)	14.2 (33.4)	14.3 (33.4)	14.1 (33.4)

水温の単位は℃。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 14.2～14.6℃、33.3～33.6 の範囲にあった。濁度は 0.9～2.1FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は 7.0～7.1mg/l の範囲にあり、底層で最小。先週と比較して、水深 10m 以浅で溶存酸素が下降し、酸素飽和度が 85～87%を示した。

11 月 27 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	14.2	33.3	1.0	7.1
5	14.4	33.4	1.2	7.1
10	14.6	33.5	1.0	7.1
15	14.6	33.6	0.9	7.1
20	14.6	33.6	2.1	7.0

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 26 日に全層で上昇し、各層で期間通じての最大を示した。それ以降は全層で下降傾向。
(単位は FTU)

水深 [m]	11月25日 (月)	11月26日 (火)	11月27日 (水)	11月28日 (木)	11月29日 (金)
0	1.1	1.6	0.9	0.8	0.7
6	1.1	2.1	1.8	0.9	1.1

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。